

表紙から



「いってらっしゃい、
気を付けて」

交通安全がはぐくむ豊かな心

表紙の人は、苗穂小学校（北九東一三）の校区で交通安全指導員をしている箱谷明さん（77）です。

箱谷さんは一九五九（昭和三十四）年から、もう四十年以上も小学校の登下校時の街頭指導などを続けています。昔は信号機がなかったため、手信号で交通整理をしていたそうです。

雨の日も、吹雪の日も、箱谷さんは学校の授業がある日は必ず交差点に立ちます。楽しみは、子どもたちとのあいさつや、ちょっとした会話です。「子どもだけではなく大人もあい

になり、いじめや非行などがなくなるように、と願っています。おはようございます。今日も頑張つて」といつも心を込めてあいさつをしているそうです。

交通安全指導は、緊張感を伴う大変な仕事です。子どもたちは時に予想外の行動を取ります。また、車が赤信号を無視して交差点に入し、危機一髪ということもありました。

でも箱谷さんは、大変だとは一言も言いません。毎日交通安全指導をしているおかげで、病気一つしたことがないですね」と明るく話します。大きく腕を振り、車や人を誘導する姿は、確かに体操をしているような動きでもあります。子どもたちが横断歩道を渡るときには大きく両腕を広げ、子どもと車の間の壁になつているかのようにです。子どもたちの安全は、箱谷さんの愛情に守られています。

さつをしてくれます。今世の中で、これほどもうれいことです」と箱谷さん。こうしたふれあいを通じて心が豊か

「交通安全のマナーは、子どもよりも大人の方が悪いかもしれませんね」と箱谷さん。子どもはすぐに大人のまねをしたがるものです。周りの大人が子どもたちの手本になるように行動してあげてください。

7月19日～28日の「夏の交通安全市民総ぐるみ運動」期間中、区内各地で街頭啓発が行われました。札幌地区では、地域住民と札幌東陵高校・札幌東豊高校の生徒らが交通安全を呼び掛けました



運動会

東区内の各地区で運動会が行われました。参加した皆さんは、初夏のさわやかな気候の中、気持ちよい汗を流しました。



第30回丘珠連合町内会大運動会（6/23）

夏まつり

夏まつりでは屋台が並び、ラムネ早飲みくらべなどの楽しい催しが開かれました。



第17回北光連合町内会大運動会（7/21）

東区のパンorama



第13回美香保夏まつり（7/20～21）